

## 一般演題2-5

### 第1回日本高気圧環境・潜水医学会東海北陸 地方会開催報告と岐阜宣言

山田実貴人<sup>1)</sup> 加藤恭浩<sup>1)</sup> 水谷善雄<sup>1)</sup>

齋藤史朗<sup>1)</sup> 金田英巳<sup>1)</sup> 豊田 泉<sup>2)</sup>

土井智章<sup>3)</sup> 山田法顕<sup>3)</sup>

- |    |                  |
|----|------------------|
| 1) | 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 |
| 2) | 岐阜県総合医療センター      |
| 3) | 岐阜大学 救急災害医学分野    |

#### 【はじめに】

昨年、日本高気圧環境・潜水医学会の6番目の地方会として東海北陸地方会が承認された。また平成30年度の診療報酬改正で高気圧酸素療法の点数等変更があった。これらを踏まえ、第1回の東海北陸地方会を開催し、テーマを「診療報酬改正による変化と安全の維持」としたので報告する。

#### 【方法】

平成29年施行された岐阜大学救急災害医学分野臨床教授 豊田泉会長(当時)に置ける施行された準備会を踏まえて岐阜県、愛知県、静岡県西部、福井県、石川県、富山県の学会員に開催案内と演題募集を行った。また、学会ホームページ上にて提示した。高気圧酸素治療安全協会による安全協会主催教育セミナーも併設した。

#### 【結果と結語】

医師12名、臨床工学技士19名、治療器関係者15名、協会1名の計47名が参加した。安全協会主催教育セミナーの特別講演2講演「高気圧酸素治療と火災」:(高濃度酸素環境での燃焼)と「当院での高気圧酸素治療での安全管理」と一般演題の5演題当院の高気圧酸素治療の現状と課題、診断および治療に難渋した腸腰筋膿瘍の1例、高気圧酸素治療中に途中中断および中途減圧を必要とした例の検討、診療報酬改訂による算定点数の変化の検討、当院における診療報酬改正前後の高気圧酸素治療の検討が報告され、現状報告や、安全にかかわる報告、診療報酬改正による変化の報告などが挙げられた。

件数増加が予想され、更なる安全維持の為に「高気圧酸素治療の3R:The Right Safety and the Right

Times for the Right Patient. (適切な安全を得て、適切な回数を、適切な疾患の患者さんのために)」岐阜宣言を地方会の方針として提言した。また、理事会では地域内の経験者に理事になっていただき、顔の見える関係の構築と、学生、関係部署、医師に興味を持ってもらえる地方会を行う方針とした。

## 岐阜宣言 高気圧酸素治療の3R

•The Right Safe  
and the Right Times  
for the Right Patient

• 適切な安全を得て、適切な回数で、適切に選別した患者のために